

大学

「令和6年度入学式」举行

Entrance ceremony

4月2日に、「令和6年度文京学院大学・大学院入学式」が、本郷キャンパス仁愛ホールにて執り行われました。（写真提供：スタジオ・トナミ）



外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部の4学部と、大学院外国語学研究科、経営学研究科、人間学研究科、保健医療科学研究科、看護学研究科、福祉医療マネジメント研究科（専門職大学院）の6研究科の入学式が、本郷キャンパス仁愛ホールで举行されました。今年度は、午前と午後に分かれて、それぞれ2学部3研究科の新入生が緊張の面持ちで出席しました。

今年の入学式では、オーケストラのパシフィックフィルハーモニア東京が会場入口で入学生のために演奏を披露し、さらに式典内では、ふじみ野市音楽協会会長・ふじみ野市文化振興審議会副会長の後藤美奈子氏、および芦沢安寿氏、東海林尚文氏の歌唱に合わせて国歌・校歌を演奏しました。その後、福井勉学長が創立者島田依史子先生の建学の精神について触れ、「自立」と「共生」の意味と、様々な

体験や決断を繰り返しながら自分自身を作り上げることの大切さ、自分とは違う考え・行動・感情・環境や社会を受け入れることの大切さなど、新入生を激励する告辞を述べました。また、来賓祝辞では、午前は駐日大韓民国大使館公使の金 壯炫閣下、午後は台北駐日経済文化代表処 代表の謝 長廷閣下（代読は同教育部部長の黄 冠超様）より、あたたかいスピーチを頂戴しました。

来賓・代表教員の紹介後、在学生代表として、午前は小林竜大さん（経営学部2年）、午後は高橋淳之介さん（人間学部3年）が歓迎の言葉を述べ、新入生が「My Statement」として、本学で成し遂げたい夢や目標を表明しました。

閉会後、午前は「ダンス部」（本郷）、午後はソングリーディングダンスチーム「レオパーズ」が新入生歓迎パフォーマンスを披露。力強いパフォーマンスに圧倒された様子でした。

＜ PHOTO GALLERY ＞

文京学院令和6年度入学式 フォトギャラリー



My Statement

大学院外国語学研究科 ムンフバト オユンボロル

日本語をネイティブレベルで話せるように努力し、研究に取り組みます。英語での論文も書く予定です。さらに、フランス語を第四の言語として学び、自身の身体と心を健康な状態に保ちたいと考えています。2年間を有意義に過ごし、世界への貢献を意識した人材として成長することを目指します。

外国語学部 鈴木 逞

私が達成したい目標は、第二、第三語学を習得することです。そのために、国際交流を行うコミュニティと関わり、異文化への理解を深め、コミュニケーションを通して語学を身につけます。皆さんと充実した時間を共有し、語学スキルや人間性を高められるよう過ごしたいと思っています。

大学院経営学研究科 結城真弦

大学院での2年間で最大のチャンスと捉え、積極的に新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。また、修了後は第一線でコンテンツ制作していくことを目指しています。クリエイティブの素晴らしさを一人でも多くの人に伝えることができるよう、深く、学びを積み重ねて参りたいと思います。

経営学部 山本実優

私は将来、人と人を繋げる橋渡しとなるような仕事に就きたいと思っています。本学では経営に関することを幅広く学び、学生生活の中で自分自身の長所を伸ばし、学業だけでなく、人としてさらに成長できる充実した4年間で過ごしたいと考えています。

大学院人間学研究科 本間富士子

大学院では、卒業研究での課題を踏まえた上で、より実践的な調査を行い、研究を深められるように励んで参ります。大学院の2年間で、自身の研究を深め、一人の人間として成長していけるように、たくさんの人との関わりを大切にしながら学びや経験を還元していけるように研鑽を重ねて参ります。

人間学部 小野寺慎市

私は将来、青少年を対象としたカウンセラーとなり、苦悩を抱える若者の心を支え、人生の希望を灯す存在になりたいです。大学では、感情心理学や行動心理学、司法・犯罪心理学など、幅広い知識を学びたいと考えています。先生方の指導と共に学ぶ仲間との交流も大切にし、充実した4年間に参ります。

大学院保健医療科学研究科 海老原楓恋

大学4年次に行った自身の研究をより深く、学内実習では得られなかった知識や経験を得たいと思い、大学院進学を決定しました。今後は大学院での授業や自身の研究を進めていくのはもちろん、学会に向けての演題発表の準備や後輩たちのサポートにも力を尽くしていきたいです。

大学院看護学研究科 佐藤麻央

大学院への進学を決めたのは、先生方の教習を享受すると共に、自己の学びを整理し、より良い看護を実践できるようになりたいと考えたためです。大学院では、病気を抱えながら生活している人が、身体的・精神的・社会的に満たされ、自己実現できる生活を送れるよう支援する看護について研究をして参ります。

保健医療技術学部 河内 麗

自身の入院経験で、不安な私に寄り添い励ましてくれた看護師の方々に感謝を受け、看護師を目指すことを決意しました。常に新しい知識と技術を学び続け、患者さんに安心と安楽を提供できる、頼りがいのある看護師を目指します。そして、社会に貢献できる看護師として成長していきたいです。

専門職大学院福祉医療マネジメント研究科 山崎恭子

福祉・保育に従事する者として日々様々な課題と直面しています。福祉医療マネジメント研究科一期生として、経営学やマネジメント等の理論を活かし、現場が抱える課題を解決できるよう学び、将来は人材育成や現場を牽引する人材となることを目標にして精進してまいります。

GCI 横川愛紗

私は大学で様々なチャンスを活かし、多くの経験やコミュニケーションを通して、異文化の理解や、自身の能力の向上に努めたいと考えています。これから始まる4年間で自分に自信をつけ、「やりたい」と思ったことを一つずつ実現出来るようになりたいです。

学院

オーケストラ パシフィックフィルハーモニア東京との音楽を通した相互協力協定を締結

3月21日、本学院とパシフィックフィルハーモニア東京（理事長：日野洋一）との連携協定締結式が本郷キャンパスの仁愛ホールにて実施されました。本協定は、双方の知見や経験・技能を活かしながら、文化芸術の振興および音楽を通してウェルビーイング促進へつなげることを目的としています。

本協定式内では、パシフィックフィルハーモニア東京の弦楽四重奏による演奏が披露され、本校中高の代表生徒と本学学生から御礼のコメントが述べられました。また、協定式後には、仁愛ホール内で「Welcome everybody～みんなのためのミニコンサート～」も実施され、会場に集まった150名ほどの観客は、プロの華麗な演奏に心を打たれました。

本協定は文京学院創立100周年記念事業の一環でもあり、今後様々なイベントを共に実施し、100周年を盛り上げていきます。



締結式に参加した関係者と本学院学生・生徒・教員

大学院

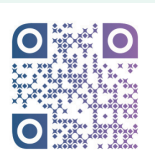
本学初の専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科」開設

2024年4月に、本学初の専門職大学院「福祉医療マネジメント研究科」が開設されました。

福祉・医療・保育の現場で働く社会人が多く入学し、平日夜や土曜日を中心に学んでいます。

秋入学もありますので、詳しくはホームページでご確認ください。

本研究科HP▶



中高

「令和6年度入学式」举行

4月6日に、「令和6年度文京学院大学女子中学校・高等学校入学式」が、本郷キャンパス仁愛ホールにて執り行われました。(写真提供：スタジオ・トナミ)



中学校

4月6日、中学校の入学式が、松本卓哉中学校教頭の司会により、本郷キャンパス仁愛ホールで举行されました。中学校・高等学校の清水直樹校長の式辞、学校法人文京学院の島田昌和学院長・理事長の式辞に続き、アオバジャパン・インターナショナルスクール(A-JIS)中等部(MYP)コーディネーターのクリス・ラドニッシュ教諭が、新入生への思いを述べて祝福されました。その後、安藤慎二後援会長(ふじ会)、高島宏子同窓会長(鏡友会)の祝辞に続き、来賓が紹介されました。そして、在校生代表の高井莉瑚生徒会長(3栗)が「歓迎の言葉」、新入生代表の竹久明希さん(1栗)が「誓いの言葉」を述べました。

校長式辞(一部抜粋)

本校は、今から100年前の1924年に、この本郷の地で始まりました。前年に起きた大災害、関東大震災により、焦土と化した東京で、途方に暮れる女性たちが、自ら生計を立てる道を開くために、当時22歳の創立者島田依史子先生が、多くの困難を乗り越え、若い情熱を一心に傾けて開校した学校です。以来、100年間に渡り、「自立と共生」の建学の精神のもと、校訓である「誠実・勤勉・仁愛」を人生の指針として、多くの先輩方が社会に旅立っていきました。創立100周年という記念すべき年に入学される皆さん、この「誠実・勤勉・仁愛」の三つの校訓をしっかりと胸に刻み、本日から6年間、ともにがんばりましょう。

高等学校

4月6日、高等学校の入学式が、石井淳高等学校教頭の司会により、本郷キャンパス仁愛ホールで举行されました。中学校・高等学校の清水直樹校長の式辞、学校法人文京学院の島田昌和学院長・理事長の式辞に続き、アオバジャパン・インターナショナルスクール(A-JIS)のジェイク・マッデン学園長が、新入生への思いを述べて祝福されました。その後、後援会「ふじ会」の安藤慎二会長、同窓会「鏡友会」の高島宏子会長の祝辞に続き、来賓が紹介されました。そして、在校生代表の中西美穂生徒会長(3萩)が「歓迎の言葉」、新入生代表の中西朱音さん(1梅)が「誓いの言葉」を述べました。

校長式辞(一部抜粋)

3年間の高校生活が今日から始まります。人生100年時代を考えると、わずか3年のことですが、単なる3年間とは違う、とても大切な3年間となるはずです。では、人生において高校時代のもつ意味とはいったい何なのか。なぜ大切なのか。それは「自分が何者なのか」そして「自分はどこへ行くのか」を今まで以上に強く意識して、より明確にしていくためのとても重要な時間であるからです。そのことを一生懸命に考え抜く3年間であってほしいと思います。この創立100周年という記念すべき年に高校に入学される皆さんが、自立した学習者となり、世界標準の学力と人間力を身につけた地球市民として、大きく成長していくことを期待しています。



中学校入学式



高等学校入学式



島田学院長・理事長



A-JIS ジェイク学園長



A-JIS クリス教諭

幼稚園

「令和6年度入園式」举行

4月6日にふじみ野幼稚園、4月9日に文京幼稚園の入園式が、各園にて執り行われました。(写真提供：スタジオ・トナミ)

ふじみ野幼稚園



ふじみ野幼稚園入園式

ふじみ野幼稚園に入園された皆さん、そして保護者の皆さま、誠におめでとうございます。

この園は、皆さんが元気に毎日通ってきてくれると、ワイワイと楽しくなります。皆さんがいろいろな遊びにチャレンジすると、ドンドン新しい遊び方が増えていきます。年中・年長クラスのみんなが遊んでいるところを見ると、やってみたくなりますよ。皆さんの「出来た!」がたくさんあると、幼稚園がピカピカに輝いていきます。やってみよう!とてもうまくいかないとときや、なんだかイヤだなあと思うときは、先生たちや年中や年長のみんなが応援してくれたり、助けてくれます。新入園の皆さんが仲間になってくれたことで、この園のみんなでワクワク考えて、やってみよう!やってみよう!つぎはこうしよう!と遊びが広がっていきます。ふじみ野幼稚園は、みんなが遊んで、工夫して、みんなでつながり合って、ステキなところになっていきます。毎日、元気に通ってください。

文京幼稚園



文京幼稚園入園式

令和6年度は、文京学院が創立100周年、本園が開園70周年の記念すべき年であり、新入園児皆様をお迎えできたことを教職員一同幸せに思っております。文京幼稚園のお友達になった皆さん、幼稚園にはわくわくする楽しいことがいっぱいです。広い園庭で、たくさん体を動かしてお友達や先生と一緒に遊びましょね。何か困った時には、優しい先生やお兄さん・お姉さんが助けてくれますから安心して毎日通ってくださいね。

お子さん方はこれからの3年間、園で多くの人と関わり、遊びの中で発見しながらたくさんのことを学んでいきます。人格形成の基礎をつくる大事な時期です。園児一人ひとりが心も体も大きく成長できるように、教職員全員で心を込めて保育に当たってまいります。式の中では教員による人形劇、親子一緒に手遊び歌の時間があり、年長児手作りの大きなペンダントをプレゼントされた新入園児は笑顔がいっぱいでした。島田昌和学院長・理事長からも素敵なお祝いの言葉をいただきました。

高校

難関大学への進学率アップ

文京学院大学女子高等学校における2023年度の進路状況が発表されました。本校が取り組む「国際教養コース」「理数キャリアコース」「スポーツ科学コース」のコース制により、個々の能力を最大限に伸ばし進路結果に結実しました。

2024年3月 大学等進路結果

コース別の主な大学の進学先

国際教養コース		理数キャリアコース		スポーツ科学コース				
学習院大学 立教大学 順天堂大学 成蹊大学 東京女子大学 東洋大学 日本大学 東京農業大学	A class	早稲田大学 慶応義塾大学 上智大学 法政大学 立教大学 青山学院大学 津田塾大学	I class	国際基督教大学 順天堂大学 日本赤十字大学 日本女子大学 東邦大学 東洋大学 日本大学 東京農業大学	A class	電気通信大学 上智大学 東京薬科大学 北里大学 芝浦工業大学 順天堂大学 日本大学 東京農業大学	I class	立教大学 中央大学 成城大学 成蹊大学 武蔵大学 明治学院大学 日本女子大学 東洋大学

コース別進学学校種

	国際教養コース		理数キャリアコース		スポーツ科学コース	
	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数
大学	100	59	58	38	26	24
短期大学	1	1	0	0	2	2
海外大学	2	1	0	0	0	0
専門学校	14	13	0	0	3	3
併設大学	21	9	11	6	9	9

日東駒専以上の難易度がある大学の合格率の推移 ※（ ）内は実人数及びその比率

高校3年生の在籍人数173名に対し、日東駒専以上の難易度がある大学へ進学する生徒は65名です。これは、学年の37.6%の生徒が上記の大学に進学することになります。

これらの大学の合格数は、延べ人数でみると減少しているように見えますが、実人数は着実に伸びています。これは、学校推薦型選抜・総合型選抜で上位校を目指す生徒が増加したこと、教員が生徒一人一人の特性を把握して長所が生かせるように、きめ細かな進路支援を行ってきた結果だと言えるでしょう。

	2023年度		2022年度		2021年度		2020年度	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
国公立	1(1)	0.6(0.6)	1(0)	0.6(0.0)	1(1)	0.5(0.5)	1(0)	0.5(0)
早慶上理ICU	7(4)	4.0(2.3)	2(2)	1.2(1.2)	0(0)	0(0)	4(4)	2.0(2.0)
GMARCH	11(6)	6.4(3.5)	23(10)	13.6(5.9)	20(9)	9.5(4.3)	26(12)	12.8(5.9)
成成明國武獨	18(12)	10.4(6.9)	18(14)	10.7(8.3)	29(22)	13.8(10.5)	17(14)	8.4(6.9)
津田/東女/日女	11(8)	6.4(4.6)	9(6)	5.3(3.6)	10(9)	4.8(4.3)	4(2)	2.0(1.0)
日東駒専	19(14)	11.0(8.1)	20(8)	11.8(4.7)	17(9)	8.1(4.3)	22(8)	10.8(3.9)
その他	22(20)	12.7(11.6)	20(11)	11.8(6.5)	17(11)	8.1(5.2)	13(12)	6.4(5.9)
延べ人数合計	89	51.4	93	55.0	94	44.8	87	42.9
実人数合計	65	37.6	51	30.2	61	29.0	52	25.6
在籍人数	173		169		210		203	

日東駒専以上の難易度がある大学に合格した生徒の選抜方法 ※（ ）内は実人数及びその比率

例年は学校推薦型選抜(指定校制)で上位大学の合格を勝ち取る生徒が多いのですが、本年度は総合型選抜が最も多かったです。総合型選抜では、高校生活でどのようなことに取り組み、どのように成長してきたのかが問われます。探究活動やグローバル教育の経験を武器として合格を得た生徒が増加したことが伺えます。

	2023年度		2022年度		2021年度		2020年度	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
学校推薦型選抜(公募制)	11(11)	6.4(6.4)	6(6)	3.6(3.6)	7(6)	3.3(2.9)	9(9)	4.4(4.4)
学校推薦型選抜(指定校制)	20(20)	11.6(11.6)	20(20)	11.8(11.8)	25(25)	11.9(11.9)	15(15)	7.4(7.4)
総合型選抜	23(22)	13.3(12.7)	7(7)	4.1(4.1)	22(20)	10.5(9.5)	13(13)	6.4(6.4)
スポーツ推薦	2(2)	1.2(1.2)	1(1)	0.6(0.6)	0	0	1(1)	0.5(0.5)
一般選抜	33(10)	19.1(5.8)	58(17)	34.3(10.1)	40(10)	19.0(4.8)	49(14)	24.1(6.9)
延べ人数合計	89	51.4	93	55.0	94	44.8	87	42.9
実人数合計	65	37.6	51	30.2	61	29.0	52	25.6
在籍人数	173		169		210		203	

併設大学進学者数
学部・学科／専攻 内訳

学部	学科／専攻	人数
外国語	英語コミュニケーション/ 国際ビジネスコミュニケーション	0
	英語コミュニケーション/ 国際教養コミュニケーション	3
経営	経営コミュニケーション	0
	マーケティング・デザイン	5
	コミュニケーション社会	0
	児童発達	1
人間	人間福祉	0
	心理	4
	理学療法	1
	作業療法	1
保健医療技術	臨床検査	1
	看護	8

進路分析

全国的に見て、近年では私立大学の合格者の内50%以上が総合型選抜や学校推薦型選抜で合格を得ています。これは、社会全体が偏差値重視の入試から、テストの点数では測れない能力を評価する入試へとシフトチェンジしたためと考えられます。今後、労働人口の49%の仕事がAIに代替可能と言われている現在において、入試方法も今以上に総合型選抜や学校推薦型選抜の比重が大きくなると予想されます。そのために、本校において、より一層、探究活動やグローバル教育などにおいて「思考力」「主体性」「協働性」など、テストでは測ることができない能力を育む必要があると考えております。

本年度の本校の入試結果を振り返ると、本校も社会の流れに背くことなく総合型選抜、学校推薦型選抜で結果を残すことができました。特に探究活動において全国の高校生が研究成果を競い合う「JSEC(高校生・高専生科学技術チャレンジ)」で入賞した生徒、タイ科学交流プログラムに参加した生徒は難関大学の合格を得ました。また、部活動で顕著な成績を取った生徒はスポーツ推薦でGMARCHに合格しています。

しかしながら、学力の向上を軽んじるわけではございません。

確たる「知識」を土台として探究活動やグローバル教育に深みが出てきます。今後は「学力向上」を軸とし、探究活動やグローバル教育をより充実させ、難関大学を目指し、更には、これからの社会に有為な人材の育成を念頭に置いて進路支援を行う必要があると考えております。

最後に、今後は「延べ人数」のみを追い求めていく学校は社会からの信頼を得られなくなるでしょう。「延べ人数」は一部の優秀な生徒がたくさん合格を得れば数字が上がります。実際に、「延べ人数」を公表して進学実績としている進学校は数多く存在します。その進学実績の裏では、授業についていけず放っておかれている生徒も存在しているのが現状です。本校が求める数は「実人数」です。「実人数」とは合格して実際に入学した人数を示します。「実人数」を求めるには、より多くの生徒にきめ細かな進路支援をしなくては数を上げることはできません。本校は「実人数」に重点を置いて進路支援を行っていきたいと考えております。



進路指導部長・教諭

大学

株式会社フォーバルとGX・DX人材の育成を目指した包括連携協定を締結

3月19日、本学と株式会社フォーバル(代表取締役社長：中島將典)との包括連携協定締結式が本郷キャンパスにて実施されました。

本協定は、本学の一人の卒業生が大学祭に来校してくれたことに始まります。卒業生が所属する株式会社フォーバルの「GX・DX人材を育成して、中小企業や自治体の業務効率化をバックアップする」という先進的な取り組みと、「社会に役に立つ各分野の専門スキル」と「DXを駆使する力」を併せ持つ人材の育成を目指す本学の相互連携・教育的発展を期待し、今回の協定締結に至りました。

この協定締結により、本学学生は、株式会社フォーバルの協力で本年からスタートするGX・DX(グリーン・デジタルトランスフォーメーション)関連の実践的な講義を受講・活用することで、社会が求めるGX・DX人材へと成長するための貴重な機会を得ることができるようになります。



左から島田昌和学院長・理事長、(株)フォーバル 中島社長、福井勉学長

大学

鶴見国際交流ラウンジ×人間学部生「多文化共生交流会」を実施

3月16日、人間学部コミュニケーション社会学科小林宏美教授のゼミナールに所属する3年生(当時)6名により、横浜市の鶴見国際交流ラウンジにて「多文化共生交流会」が実施されました。これまで小林ゼミの学生たちは、鶴見国際交流ラウンジと連携し、同区在住の外国人住民向け子育て情報マップ作成の協力や子どもの学習支援などの活動を行ってきました。

様々な出身国の隣人が増えている現代の日本社会においては、多様な背景をもつ人たちが共に生きる社会を築いていくことが求められており、今回はその取り組みの一つとして学生たちが交流会を企画しました。参加者は、中国や韓国、ネパール、ペルー、ブラジルなどの出身で、日本の中学や高校、大学に通っていたり、社会人として働いている外国につながる若者たちです。交流会では、学生たちがゼミで取り組んでいるテーマについて紹介した後、参加者同士が互いの国の文化や習慣について話し合いました。

参加した学生からのコメントを以下に掲載します。



交流会でこれまでの活動等を発表する学生たち

鶴見区で行ったフィールドリサーチの様子はこちらから



浅野百香【人間学部コミュニケーション社会学科3年(当時)】

最初は少し緊張したせいもあり、なかなか話が弾まず、何とかなるだろうという浅はかな考えは通用しませんでした。だからこそ日本語以外の言語の習得は必要だと強く感じ、私を含めこれからの世代は学習しなくてはいいないと思いました。このイベントを通して視野が広がったので、今後の人生でも多くの外国出身の方と関わり、様々な文化に触れていきたいと思っています。

中学

「創作ダンス発表会」開催

3月13日、「令和5年度創作ダンス発表会」が本郷キャンパス仁愛ホールで開催されました。今年も中学3年生の中から全12チームが出場しました。今年のテーマは「平和」。11月よりグループを組み、平和とは何か…互いに考え、取り組んできました。初めは、自信がなく大勢の前で発表すると動きが小さく、下を向いてしまう生徒も多くいました。しかし、本番に近づくにつれて堂々と表現できるようになり、ステージの上ではどのグループも納得のいくダンスができました。この3年間の想いを胸に仲間との絆を深め、取り組んできた最後の行事、表彰後に感極まり涙する生徒もあり、大変有意義な発表会となりました。



PHOTO GALLERY



特集

まちラボ関連の注目のトピックス

Topic

01

3月9日



まちラボ本郷

「ねこっちゃんビデオ通信〜文京Deepな人」プロジェクト人間学部生による映像作品が「第8回文京映画祭」で上映

Topic

02

3月20日

まちラボふじみ野

「まちフェス in 大井」商店街イベントで街おこし人間学部生が自治体と協力し地域イベントを企画・運営



▲学生による詳細レポートはこちら



新しい先生方の紹介

新年度から、園児・生徒・学生・院生たちの教育を担う新しい先生方を紹介します。

【外国語学部】
柏村みね子特任教授(教職課程センター)・田中美貴特任助教(文京語学教育研究センター)
【経営学部】
濱田俊也教授

【人間学部】
今井朋子准教授・石 晴玲准教授・飯田諒助手・前田 遥助手・吉田和実特任教授(教職課程センター)
【保健医療技術学部】
辻佐恵子准教授・渡辺昌子助教・五十嵐達也助教・久登本奈緒美助教
【福祉医療マネジメント研究科】
高橋淑郎特任教授・八木麻衣子特任准教授

【中学校・高等学校】
渡邊 健校長補佐・山岸良孝教諭
【文京幼稚園】
白石理恵教諭・中村美那教諭・渡邊智加子教諭・内藤麻奈美教諭
【ふじみ野幼稚園】
苛原義博教諭・江黒圭美教諭